



夏の秋田駒ヶ岳

秋田更生保護

第 70 号
発行所

秋田市山王7-1-2

更生保護法人
秋田県更生保護援護協会
(編集)
秋田更生保護編集委員会
(題字)
小 熊 良 悦
(印刷)
(株)アクティス

令和元年8月1日現在
保護司数 650名

目次

巻頭言	1	秋田県ＢＢＳ連盟	4
更生保護関係団体の動き		秋田県就労支援事業者機構	4
秋田県更生保護援助協会	2	秋田県更生保護70年史発行に向けて	5
秋田県保護司会連合会	2	転入者のあいさつ	5
退任のご挨拶	3	速報 第69回“社会を明るくする運動”	6～7
就任のご挨拶	3	栄誉に輝く叙勲・褒章	8
秋田保護観察所	3	保護司の異動	8
秋田県更生保護女性連盟	4	秋田保護観察所人事異動	8
秋田至仁会	4	編集後記	8

秋田県の更生保護関係者の皆様には、日頃から更生保護事業の推進に格別の御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

初の秋田県での勤務、これまで北海道内の勤務が長く、道外勤務は8年前に東北管内へ一度あったのみです。着任後県内の更生保護の実情を早く知ることと、保護観察所から県内各地の距離感も体感したく、本年

度の各団体の総会時期は可能な限り出席させていただきました。7月は、社会を明るくする運動の強調月間かつ再犯防止啓発月間です。再び各地にお邪魔する回数が多くなっています。この4か月間、庁内で書類に目を通していただけではわからない各地の更生保護関係者の熱意に触れることができました。更生保護制度施行から70年、さらに秋田県の歴史を付け加えると、川村養助氏が当県に秋田出獄人保護所を開設した1900年（明治33年）から119年、川村氏の信念が脈々と引き継がれ、県内の更生保護の土台となっていることを実感した4か月でもありました。

平成28年12月に施行された「再犯



「秋田に着任して」

秋田保護観察所長 佐々木 康志

の防止等の推進に関する法律」、その翌年に策定された「再犯防止推進計画」、令和元年度は秋田県によって「秋田県版の地方再犯防止推進計画」が策定される見通しです。令和という新しい時代を迎え、「誰一人取り残さない」更生保護行政を実現するため、秋田県の更生保護関係者の皆様にはこれまでと同様に御支援をお願い申し上げます。

また、閣議決定された骨太の方針2019に明記される「持続可能で質の高い更生保護」を推進するためにも、これまで築かれた秋田県の更生保護の土台に、住居、就労、医療、福祉、教育等の各分野の再犯防止策をいかに地方再犯防止推進計画に組み入れ、10年先、30年先に活用していくかを一緒に考えていただくますよう県内の更生保護関係者の皆様には重ねてお願い申し上げます。



更生保護関係団体の動き

秋田県更生保護援護協会

★理事会・評議員会開催

ホテルメトロポリタン秋田において、三月十九日及び四月十六日に理事会を開催しました。前者では平成三十一年度事業計画・収支予算について、後者では平成三十年度事業成績・収支決算について議案審議され、いずれも全会一致で承認されました。なお、三月十三日・四月十九日に評議員会が開催され、いずれの議案も承認されました。

★理事の異動(令和元年六月二十五日)

(新任) 柳沢 和子

★評議員の異動(令和元年六月二十五日)

(新任)

金山 智紀 長岐 直介

由利 均 佐藤 道幸

(令和元年八月八日)

(新任)

藤原 徳義

(辞任)

加藤 忠輔 佐藤 進一

塚田 武志 柳沢 和子

令和元年度事業計画書(抄)

運営に関する事項

1 犯罪のない、誰もが安心して暮らせる地域社会は国民すべての願いであり、その実現に寄与するために、更生保護活動のなご一層の

充実強化が期待されている。当協会は、更生保護事業について広く県民に周知し、今日の更生保護に対する期待に応えられるようにする。

2 より一層の事業の充実・発展を図るために、役職員の協力を得て、更生保護事業について広報・宣伝し、会員及び篤志寄附者の発掘と維持に努め、安定した財源の確保に努める。

3 理事の補充に努め、より一層体制の充実を図る。

篤志者寄附金の御芳名

平成三十一年一月以降にご寄附を寄せられた方は、次のとおりとなっております。厚くお礼申し上げます。

一金 三十万円

(株) 秋田銀行様

一金 二十万円

小畑 悟様 村岡 兼幸様

齊藤 満様 辻 良之様

布谷 博様 小熊 良悦様

和田 仁様 尾形 和雄様

ユナイテッド警備保障(株)

一金 十万円

長田 健一様 藤井 正人様

黒澤 明子様

八島 國雄様

田代 苑子様

清水 重輝様

大内 睦子様

櫻田 元宏様

田口 昭一様

細谷 重直様

加賀谷文秋様

沢木 則明様

田口 昭一様

平成30年度 秋田県更生保護援護協会収支決算
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

収入総額 7,911,532円 支出総額 7,869,291円

収入の部

科 目	予算額	決算額
補助金等収入	520,000	483,000
寄附金収入	4,651,000	4,182,000
財産収入	630,000	622,732
会費収入	3,000,000	2,557,800
雑収入	49,000	66,000
合 計	8,850,000	7,911,532

支出の部

科 目	予算額	決算額
一時保護事業	740,520	792,413
事務費	120,520	115,293
金品給与費	350,000	434,120
就労援助費	270,000	243,000
連絡助成事業	7,442,060	6,411,358
事務費	1,131,060	1,105,343
啓発費	630,000	768,680
連絡調整費	806,000	721,808
助成費	4,875,000	3,815,527
管理費	634,620	665,520
予備費	32,800	0
合 計	8,850,000	7,869,291

秋田県保護司会連合会

令和元年度事業計画書(抄)

基本計画

当連合会は、秋田保護観察所の重点事項等に即して保護観察及び犯罪予防活動が効果的に行われるよう、また、各地区保護司会との連携・調整に努め、かつ関係団体とも関係をより一層密にし、更生保護事業の推進に努める。



保護司特別功勞章授与式 (令和元年5月23日 於: 法曹会館)

(宮原文彌氏 前列左から2番目)

退任のご挨拶



秋田県保護司会連合会
前会長 宮 原 文 彌

平成二十五年六月より会長を拝命させていただいてから、この度任期満了により退任となりました。この間、関係各位には、格別のご尽力をいただきました事、心から感謝と敬意を表します。

小生の任期中は、「再犯の防止等の推進に関する法律」が成立、プラスして地方再犯防止推進計画策定に向けた働きかけの強化について等、矢継ぎ早に新制度が施行されました。更生保護事業の在り方を見直し、国民が安全で安心して暮らせる社会を実現するため、国や地方の公共団体と民間が連携して、再犯防止に向けた取り組みの充実強化を図っておられることと思います。

また、東北管内の会議に出席させて戴き、どこに行っても共通するのは、保護司会は、ある緊張感があり、ある姿勢の保持が全体に流れていることです。

二〇二七年までには、現在の半数にあたる三万三千人が退任すると見られ、保護司の人数不足に陥るといわれておりますが、全国保護司会八八六支部のうち八〇二支部にサポートセンターが立ち上がり、年内に事情が許すならすべてに設置されるそうです。

そのような中、今後ますます当連合会も柳沢新会長のもと発展されることを期待して退任のご挨拶いたします。

就任のご挨拶



秋田県保護司会連合会
会長 柳 沢 和 子

この度六月十日付で秋田県保護司会連合会会長に就任しました。日々、時が過ぎるごとに緊張感で身が引き締まる思いですが、謹んで重責を担っていく所存でございます。顧問の先生方、各地区保護司会、更生保護の関係機関の皆様には今までと同様に、ご協力とご指導をお願い申し上げます。本年「令和」という元年に、就任しましたことは恐らく多くもあり、意義深くも感じながら、「令和」という意図を紐解いてみると、ある文人の解説に多様な生き方が調和することへの期待が込められているとの説理に考えさせ

られました。これからは団塊世代の保護司が、まるで将棋の駒が崩れるかのように年齢制限で辞任していきます。新任保護司候補者対策として、各関係機関、地域の住民に、非行や犯罪のない地域社会を築くために実状の理解を求め、連携を深め、調和を図りながら新任保護司推挙に繋がれば幸いと願ひながら、元号に伴って鑑みた一考と受け止めてくだされば有難いです。

そして本年は新時代の幕開けに、更生保護70周年を迎えますことは誠に喜ばしく感じます。諸先輩保護司の先生方が築いてきた秋田県保護司会連合会を各地区保護司会、会長様方と共有しながら一層の躍進が出来ますよう努力して参りたいと思ひますので宜しくお願い申し上げます。

役員名簿

(令和元年7月20日)

秋田県保護司会連合会

役 名	氏 名	地 区
顧問	黒 勳	
同	宮 原 文 彌	
会 長	柳 沢 和 子	秋 田
副 会 長	川 島 善 道	潟 上 湖 東
同	阿 部 照 芳	鹿 角
同	今 野 幸 悦	大 曲
常 務 理 事	新 野 建 臣	潟 上 湖 東
理 事	佐々木 晋太郎	秋 田 (東)
同	金 山 智 紀	同 (中央)
同	桑 原 利 光	同 (臨港)
同	高 桑 和 雄	男 鹿
同	池 田 和 男	能 代
同	藤 原 徳 義	大 館
同	長 岐 直 介	北 秋 田
同	村 山 正 顕	本 荘
同	菅 永 義 横	手 沢
同	齊 藤 茂 美	湯 館
同	桃 園 豊 弘	角 手
同	伊 藤 勝 子	横 能
同	清 水 洋 子	鹿 本
監 事	由 利 均	
同	佐 藤 道 幸	

秋田保護観察所

いよいよ始動！
秋田県版再犯防止推進計画

二〇一六年に「再犯の防止等の推進に関する法律」が制定・施行され、翌年に国における再犯防止推進計画が策定されました。同法では、国が策定した計画を踏まえ、地方公共団体においても地方再犯防止推進計画を策定する努力規定が置かれ、これに基づき、秋田保護観察所では、検察庁ら他の法務関係機関及び秋田県保護司会連合会と共に、秋田県版地方再犯防止推進計画策定に向け秋田県と十一回もの話し合いを重ねました。

二〇一八年六月の秋田県議会で佐竹敬久知事は「秋田県における地方再犯防止推進計画を策定するため、県に再犯防止推進協議会を立ち上げる」と表明し、二〇一九年七月二十五日、ルポールみずほにおいて協議会が始まりました。十三の機関で構成されるこの協議会は、翌年三月までに総計三回開催され、翌年三月末までには秋田県版の再犯防止推進計画が策定されることになっています。なお、秋田県では、この協議会と並行して、再犯防止推進モデル事業に着手しており、刑務所出所者等の居場所づくりをテーマに行われている。秋田保護観察所としては、秋田県での見通しが立ったことから、秋田県内の各市町村に対して計画策定に向けた働き掛けを行っていきたいと考えておりますので、保護司会をはじめとする更生保護関係者の御協力を今後ともよろしくお願いいたします。

秋田県更生保護女性連盟

会員数 令和元年五月一日現在

二十四地区 一、八二四人
★秋田県更生保護女性連盟総会

五月二十四日秋田ビューホテルにて、秋田保護観察所佐々木康志所長、久野昌美企画調整課長、廣瀬直子保護観察官、秋田県保護司会連合会新野建臣常務理事をご来賓にお迎えし、会員一三二名参加の下、開催されました。総会では議案すべてが速やかに可決・承認され新年度がスタートしました。午後の研修では、太平洋戦争の末期（一九四四年）五十三人の子どもの命を守った保母たちの感動の実話「あの日のオルガン」の映画を鑑賞しました。保母の話ですが、共に学び働く仲間が、つまずいたり、助け合ったり、ぶつかり合ったり、励まし合ったりしながら互いに成長していく姿に、今後の更女会活動への示唆を得ることができました。

★五十六回

「日本更生保護女性の集い」

六月十三日、東京有楽町朝日ホールにおいて全国より会員が集い開催されました。席上日本更生保護女性連盟副会長として秋田県連盟太田宥子会長が綱領唱和をいたしました。秋田県より次の方々が登場されました。

・日本更生保護女性連盟会長表彰

(秋) 田 蓮 沼 瑞 穂
(二ツ井) 齊 藤 正 子
(大 仙) 杉 沢 千恵子

★今後の主な行事

◎研修旅行

釜石市更生保護女性会と交流
九月二日（三日）（岩手）

◎東北地方更生保護女性会員研修会
九月十二日（十三日）
（岩手・盛岡）

◎日本更生保護女性会員中央研修
十月二十三日（二十四日）（東京）
◎秋田県更生保護女性会員研修会
十二月上旬（秋田）

秋田至仁会

「最近の更生保護施設での風景」

日ごろ、秋田至仁会の事業・運営に御支援御協力を賜り、感謝を申し上げます。今年四月から補導員（福祉担当）として勤務している浅野紀子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、当施設では、日中仕事に行く入所者が増えています。短時間又は短期間と、就労形態は人さまざまで、日中の活動としては望ましい姿です。そうした中、なかなか就労に結びつかない入所者もあり、仕事に行く人たちを見て、焦りや不安感、あきらめの気持ちなど、負の感情を持っている人も少なくありません。

「少し、いいですか。」と不安げに背を丸めて事務室へ入ってきます。

「どうしましたか？」との声かけに、「相談があって……」

話を聞くと、退所のことだったり、お金のことだったり内容はさまざまです。現在自分が抱えている不安な気持ちを話し出し、話をしているうちに、丸まっていた背中がまっすぐになり、事務室を出るころには、顔も上を向いています。吐き出された辛さを傾聴し、「私はこう思いますよ。」と、具体的な解決方法でなくても、それに向き合うことで相談者の気持ちが一変すると、

次へ進む力や行動力も湧き出します。今ここに在る間に、退所後の生活を想像してもらい、「今、何をすべきか」を自分で考えられるよう促していく。与えられるのではなく、自分で考える力を、ここに在る間に身に付けてほしいと考えています。ここを退所すれば、不安を抱えていても、すぐ誰かに相談できる環境ではなく、誰かです。いかに考え、行動していくか、再犯防止の観点からも行動が試されていきます。

退所の日の朝、退所後も相談に乗れることを一言添えて送り出します。「困ったことがあれば連絡します。」と言う人もいれば、「もう、ここへは来ませんから。」等と言う人までさまざま。彼らの背を見て、ことの良し悪しを判断できる生活を送ってほしいと願っています。

秋田県BBS連盟

★東北地方BBS連盟理事会

四月六日、仙台市で開催。菅原会長が出席し、今年度の事業計画、予算等について協議した。役員改選が行われ、地連理事に菅原県連会長（留任）、地連監事に竹中県連副会長（新任）が選出された。

★特定非営利活動法人日本BBS連盟総会

五月十八日から十九日にわたり更生保護会館（東京都渋谷区）で開催され、黒木副会長が出席した。

★東北地方BBS大会

六月二十九日から三十日にわたり、岩手県盛岡市で開催され、東北管内のBBS会員は関係機関約百名が参加。研修では、ネットいじめやDV、ともだち活動と学習支援についての

事例研究を行った。

★「ハング・ルーズ」青年教室の通年開催

秋田地区BBS会が中心となり、障がいのある青少年と地域行事やレクリエーションなどの余暇活動を楽しむ交流を通年で行っている。五月はラウンドワン（秋田市卸町）でスポッチャ（スポーツツレクリエーション）を行った。

★天使園学習ボランティア

秋田地区BBS会が中心となり、秋田市保戸野にある児童養護施設、聖園（みその）天使園の子どもたちと週一回、毎週土曜日午前九時から十時まで学習ボランティアを行っている。

★社会を明るくする運動への参加

社会を明るくする運動強調月間の開始に当たり、幕開行事として七月一日に秋田駅で関係機関や団体とともに広報活動を行った。

★矯正展への参加

七月七日に秋田刑務所でのイベント、矯正展に参加した。BBS会員や更女、観察所関係者で広報活動を行うほか、バリンアートをプレゼントする等、子どもたちに楽しんでもらう催しを行った。

秋田県就労支援事業者機構

平素から、当機構の活動に対し、御理解と御支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本年五月二十九日、ホテルメトロポリタン秋田において、当機構の令和元年度通常総会を開催いたしました。

総会では、平成三十年度事業報告及び収支決算、会長・理事及び名誉会長

の選任について御審議いただき、いずれも満場一致で承認されました。
新たに副会長の伊藤萬治郎氏が会長に、理事の太田宥子氏が副会長に、それぞれ選任されました。また、新たに加藤忠輔氏、佐藤清次氏、阿部照芳氏、千葉文士氏が理事に選任されました。

そして、これまで長きにわたり会長を務めてこられた小畑悟氏は、新たに名誉会長に選任されました。

本年度も保護観察対象者をはじめとする刑務所出所者等への就労機会の提供に努めるとともに、協力雇用主の更なる開拓、そして、フォローアップに努めて参りたいと考えておりますので、引き続き、当機構の活動への御理解と御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

会長交代(令和元年七月一日)

小畑 悟→伊藤萬治郎

お知らせ 「秋田更生保護七十年史」発行に向けて

今年度は更生保護制度施行七十年を迎えます。当連合会においては、これを記念し「七十年記念史」を発行することとし、令和二年三月発行の準備を進めております。編集委員会を開催し、現在、各団体ご協力のもと、原稿依頼中であります。先人たちの功績を振り返りつつ、これからの更生保護へたすきをつないでいくためにも、必要なものと考えております。

過去に四十年史・五十年誌・六十



年史を発行しておりますが、概要は六十年史を踏襲したものです。一冊二千円で販売を予定しております。ご購入をご希望の方は、当連合会までご連絡下さい。

令和元年度は更生保護制度施行70周年を迎えます。

★全国大会

令和元年10月7日(月)
東京国際フォーラム

★東北大会

令和元年11月26日(火)
仙台国際センター

★秋田県大会

令和元年11月14日(木)
秋田市文化会館



転入者のあいさつ

統括保護観察官



今春、長野保護観察所から異動してまいりました。統括としては初めての勤務となりますので、何かと至らない点があると思いますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

また、今年度は更生保護制度が施行されてから70周年目に当たる記念の年となります。これもひとえに、保護司をはじめとする多くの方々に支えていただいたおかげと、心より御礼申し上げます。

今後とも変わらぬ御理解・御協力を賜りますよう、また、御指導・御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

保護観察官・会計係長



この春の人事異動により、盛岡保護観察所から参りました。

進藤と申します。私は仙台市出身で、これまで東北委員会、仙台、福島で事務官や保護観察官業務を経験し、昨年度は盛岡で会計係長として勤務してまいりました。秋田での勤務は初めてとなりますが、これまでに何度も訪れており、この度秋田の地で勤務できることを大変嬉しく感じております。

今年度は地区主任官と会計係長の併任となり、御迷惑をお掛けするところも多々あるかと思いますが、秋田県の更生保護のさらなる発展のため

に努めて参る所存ですので、御指導御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

主任保護観察官



この四月の人事異動で、青森保護観察所から転任して参りました。

秋田での勤務は5年ぶり二回目となり、秋田県の更生保護関係者の皆様とまた一緒に働けることを嬉しく思っております。秋田県は、お米やお酒等、おいしい物がたくさんあり、私は食べることが好きなので、一段と体が大きくなつてしまいました。そうならないようベルトと気持ちを引締め、頑張りたいと思います。

秋田県の更生保護関係者の皆様や関係機関団体の皆様と連携を密にし、地域に貢献できるよう努力して参りたいと思いますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

保護観察官



この春の人事異動により、青森保護観察所から転任して参りました。

廣瀬と申します。私の出身は岐阜県で、採用されてから金沢、名古屋、福島、北海道、青森と転勤し、東北での勤務は秋田で3県目となります。企画調整課の保護観察官としての勤務は初めてですので、何かと至らぬところも多く、皆様方には色々と思いますが、何とぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

9回 くする運動"



幼若も力一杯頑張り、
祭りを盛り上げました



マイクロバスから社明をPRアナウンス



もちろん社明グッズの配付も行いました

7/1 秋田駅



柳沢会長の開会あいさつからぼぽろーど
にてオープニングセレモニーを開催



あきた観光レディーも
社明グッズの配付をお手伝い

7/7 矯正展



今年も真夏日となった秋田矯正展



開場とともに来場者に社明グッズを配付

第69回"社会を明るくする運動"

～犯罪や非行を防止し、
立ち直りを支える地域のチカラ～

"社会を明るくする運動"五つの誓い

- 犯罪や非行のない明るい社会を築きます。
- 再犯防止は更生保護の使命です。
- 地域のチカラで立ち直りを支えます。
- おかえりの心で仕事と居場所をつくりまします。
- 幸福 (しあわせ) の黄色い羽根で理解の輪を広げます。



鹿角 7/5



社明市民集會にて
「君の笑顔に会いたくて」を上映

モデル地区



速報

第6

“社会を明るくする運動”

8/3～8/6 竿燈



今年で8年目となった
秋田地区協力雇用主協会社明竿燈会

潟上湖東 7/22



八郎潟駅前「はちばる」にて
社明推進フォーラムを開催



「願人踊」でフォーラムを
盛りあげました

大曲 7/1



大曲地区保護司会美郷分会員が
更女会員とともに美郷町長に
総理大臣のメッセージを伝達



スーパー大型店において、
保護司会・更女の会による
社明キャンペーンを実施

7/16 キャラバン



キャラバン隊に所長から激励のこたば

大曲 7/18



「支え合うまちづくりを進める集い」と
銘打って、社明推進集會を開催



7/27 サッカー



広いスタジアムの中からサポーターにPR

栄誉に輝く 叙勲・褒章

春の叙勲・褒章

(令和元年五月二十一日)

春の叙勲及び褒章を受けられた管内の更生保護関係者の方々は、次のとおりです。
永年の御功労・御功績によりめでたく受章されました皆様にご心からお祝いを申し上げますとともに、なお一層の御健勝と御活躍を祈念申し上げます。
(敬称略)

瑞宝双光章

(更生保護功労)



佐藤 宏
(男鹿地区保護司)



渡邊 三千平
(大館地区保護司)

叙位

従六位 (令和元年六月六日付)

斎藤 恵子

(元大館地区保護司)

藍綬褒章

(更生保護功績)



黒澤 明子
(横手地区保護司)



佐々木 宮廣
(大曲地区保護司)

更生保護以外

瑞宝双光章

(警察功労)

伊藤 隆 (秋田(臨港)地区保護司)

保護司の異動

依願解嘱

三月三十一日 高橋 峰夫 (湯沢)
四月三十日 上田 吉美 (大曲)
四月三十日 小柳 博文 (大曲)
六月三十日 富樫 佳典 (大曲)

任期満了

(令和元年六月三十日付)
板垣 文穂 (秋田(東))
佐藤 昭一 (秋田(中央))
鈴木 ケイ子 (秋田(中央))
千蒲 隆 (秋田(臨港))
中島 トメ子 (湯上湖東)
淡路 和春 (能代)
武口 砂代子 (大館)
樋口 新平 (大館)
伊藤 順伯 (大館)
中村 隆俊 (北秋田)
佐久間 朝子 (鹿角)
伊藤 盛彦 (本庄)
小林 彦松 (湯沢)

新

(令和元年七月一日付)
渡邊 幸智 (秋田(中央))
浅野 紀子 (秋田(中央))
竹屋 浩子 (秋田(中央))
雑賀 友子 (秋田(中央))
大澤 俊博 (湯上湖東)
三浦 利花 (湯上湖東)
岡浦 明子 (北秋田)
森中 幸子 (鹿角)
田中 政幸 (鹿角)
井田 昌剛 (鹿角)
石井 久美子 (本庄)
近藤 俊彦 (湯沢)
高橋 誠子 (湯沢)
兼子 沢

秋田保護観察所人事異動

(平成三十一年四月一日付)

転入

長 佐々木康志 (札幌観 次長)
所 統括保護観察官 葛西 史子
主任保護観察官 馬場 英紀
保護観察官 廣瀬 直子
保護観察官・会計係長 進藤ちづる
保護観察官・会計係長 (盛岡観 保護観察官・会計係長)
保護観察官 藤井 正人 (再任用)

退職

所 長 藤井 正人
所 長 五島 伸一 (釧路観 所長)

転出

統括保護観察官 石橋 大輔
主任保護観察官 高橋 毅
主任保護観察官 (青森観 主任保護観察官)
保護観察官・会計係長 鹿ノ又義晴
(東北委員会 保護観察官)

おくやみ

蒲 芳 (北秋田) 平成31年1月18日享年72
佐藤 博明 (鹿角) 平成31年1月18日享年72
大関 衛 (湯沢) 平成31年3月6日享年51
虻川 宏 (大館) 平成31年3月30日享年74
茂木 隆 (大曲) 令和元年7月15日享年69

編集後記

「沙を握りて宝と為すも猶その験あり。形を模して例を作す。しばしその感を見る。如何に況んやその職これ同じく、その称これ一なるおや。その情、その業、もし伝うべきものならば、その美その道豈に來たらざらんや。」これは釈尊の時代、或いはもつ以前の時代のことを述べておられます。
子供が戯れて土を捏ねその泥でもって御仏のお姿をつくる、出来たならばお参りしよう、そういうような戯れごとでも、必ずしるしありということ。
「形を模して礼を為す」仏様のお姿を刻む、泥を捏ねてお作り申し上げて拝むことと、しばしばその感を見る。感応というものが表れてくるわけであり。そのまごころというものが、必ず時とともに現れてくるのが、感応道交ということでしょう。
阿育王經に出てくる言葉のようですが、釈尊が都を托鉢する、その時に何も差し上げるものがないから、今まで遊んでいた砂を一握りさしあげる。たつたその一握りの砂がやがて仏果菩提を成就する大きな要因となつてくる話があるわけですが、たえそれは戯れであつても人間の真実心があるから、必ず供養のしるしというものが現れてくる。生半可でいい加減な心持ちではなくて、仏様にそなえたいという、釈迦牟尼世尊にお供えをするんだという心。
この真実心、恭敬心というものが人間のこのすがたをかえていくものでありますから、たとえこのような小さな事であっても、真実心、敬重の心ということ忘れ去つてはならない、そして、必ずこれを伝える。その仕事というものを伝えるならば仏道というものは成就するものといわれます。
櫻田 元宏

編集委員

櫻田 元宏 (編集委員長)
加賀谷文秋・新野 建臣・北林 暢子
伊藤 妙子・久野 昌美・廣瀬 直子
菊地 皆美